

論文投稿支援プログラム

【学振特別研究員を目指す大学院生及び学群生のための

ファーストオーサー論文支援】（令和 8 年度）

実施要項

1. 目的

日本学術振興会特別研究員（以下「特別研究員」という。）への採択を目指す学生への支援を強化することは、本学の研究力向上の観点から重要である。特別研究員として採択された学生は、自立的かつ意欲的に研究活動を推進することにより、優れた研究成果の創出や外部資金の獲得に寄与するとともに、本学の客観的な評価向上や大学院進学促進にもつながることが期待される。

本プログラムは、特別研究員を目指す大学院生及び学群生がファーストオーサーとして投稿する論文に対し、論文掲載料・英文校正費用を支援することにより、特別研究員の採択可能性を高めるために必要な研究業績の形成を促進し、安定した生活基盤の下で研究活動に専念できるよう後押しすることを狙いとする。もって本学における特別研究員の採択者数の増加及び研究力の強化に資することを目的とする。

2. 支援内容

アクセプトされた論文に対して、論文掲載料[※]及び当該論文作成時に要した英文校正費用を、論文 1 件当たり上限 20 万円で支援する。

支援は予算の範囲内で先着順（アクセプト報告提出順）により実施し、いずれか早い時期に終了する。

- 1) 支援予算が上限に達した時（支援総額 500 万円を予定）
 - 2) アクセプト報告期限を令和 9 年 3 月 10 日までとし、期限を迎えた時
- 支援金は申請額の範囲内で決定し、令和 8 年度運営費交付金で配分する。

※：論文掲載料には、論文アクセプト時に OA を選択した場合の APC も含む。附属図書館が実施する電子ジャーナル転換契約による論文掲載料（APC）支援の著者負担金も含む。

3. 応募要件

応募者は本学の教員とし、以下の要件をすべて満たすこと。

- 令和 9 年度以降に特別研究員（DC）の申請を予定している大学院生及び学群生がファーストオーサーとして投稿する論文であって、応募者が共著者であること。
- 本プログラム公募開始日（令和 8 年 7 月 29 日）以降に論文を初回投稿すること。投稿期限は設けていないが、2.支援内容に記載のとおりアクセプト報告期限を設けているので、早めの投稿を推奨する。

- 論文の投稿先は査読付きジャーナル※であること。
※Scopus 収録誌であることを推奨する。(Scopus コンテンツ | Elsevier)
- 論文掲載料・英文校正費用を負担した者（負担する者）であること。
- 英文校正費用は当該論文を作成するために外部に依頼することで要した費用であること。
- 同一論文に対して学内で本プログラム以外の投稿支援を受けていないこと。

4. 申請方法

投稿した論文がアクセプトされた後、以下のとおり必要書類を提出すること。

提出書類：①アクセプトされたことが確認できる書類

（雑誌名、論文タイトル、日付等が確認できること）

②請求書の写し（論文掲載料・英文校正費用の内容が確認できるもの）

③論文投稿時期が確認できる書類

提出期限：アクセプト後①②③の提出書類が揃い次第速やかに。

[（提出方法の詳細は教員向け要項に記載）](#)

5. 支援額の配分について

[（詳細は教員向け要項に記載）](#)

6. 留意事項

- 本プログラムは、単に学生に係る論文投稿経費を支援することを目的としたものではなく、特別研究員を目指す学生を支援することで、特別研究員の採択者数の拡大と本学の研究力強化に繋げることを目的として実施するものである。応募に当たっては、本趣旨を十分理解し、目的に沿ってご活用いただきたい。
- 論文掲載後、応募者は速やかに TRIOS に研究業績を入力すること。
- フォローアップのため、支援状況を随時学内会議等で報告する。